

●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着化	●授業以外で運動やスポーツを行う時間を増やすために、休み時間等で外遊びをする児童を85%以上にする。	・体育委員会で「クラスマッチ」を企画することで、運動をする機会を増やし、より参加人数を増やす。 ・学級で「元気タイム」を設定したり、雨の日には体育館を開放し、学年ごとに遊ぶ日を設定したりすることで体を動かす機会を増やす。 ・リレーカーニバルや水泳大会・なわとび大会などの体育的行事を行い、体力の向上を図る。 ・各クラススポーツチャレンジに積極的に参加できるような場の設定をする。						体育主任 食育担当 養護教諭
	○望ましい生活習慣の形成	○自分から進んであいさつをしている児童の割合80%以上を目指す。	・1年間の生活目標を「あいさつにあふれ、落ち着いた学校にしよう」とし、「合言葉」の「あかるく・いつでも・さきにつづけて」の周知・徹底を図る。 ・あいさつについて学期ごとの具体的な目標を示す。 ・児童会・PTAが連携した朝のあいさつ運動を展開する。 ・年に2回生活点検を行い、生活習慣の見直しを行う。						生徒指導
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。 ●超過勤務時間が各月平均30時間以内を目指す。	・毎週金曜日を定時退勤日とし、それを逆算して仕事を効率的に行うような意識づけを行う。 ・勤務の効率化を行うために、職場環境の整備や学校行事の見直しを行う。						管理職
	○年次休暇取得の啓発	○長期休業中の目標年休取得日数の達成率80%以上を目指す。	・長期休業中の目標年休取得日数を具体的に示す。 ・教務と連携し、長期休業中の行事や研修会の精選、集中的に行う期間を設ける。						管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
★小中一貫教育の充実	★教科「日本語」の実践充実	★保護者・地域等に対する教科「日本語」の授業公開学級率80%以上 ★保護者等に対する教科「日本語」に係る情報を年間3回以上公開した学級率80%以上	・保護者や地域の方々の理解を図るために、全学級で年間を通して1回以上、授業参観等を実践する。 ・教科「日本語」の学習内容等を学級通信等で知らせる。							日本語主任
○	○学級活動や学校行事等子どもの出番・役割の設定 ○学級会を主軸に置く特別活動の取組	○学校行事の準備や計画、進行などを児童にまかせ、できるだけ多く子どもの出番・役割を設定し、主体的な取り組みをしているという児童を90%以上にする。	・代表委員会を通して児童の思いを反映させた取り組みを行う。 ・集会や児童朝会、運動会の進行や準備などで子どもの出番・役割を設定し、主体的に活動に取り組みさせる。 ・縦割り班での縦割り活動やあいさつ運動を年間を通して行い、児童に計画・立案・運営させる。 ・常に考える教育を推進し、小集団での話し合い活動を行う。							特活主任
○	○学校・家庭・地域一体となって承認・賞賛する開発的な関わり	○自分や友達のよさに目をむけ、承認・称賛する取り組みを通して自己肯定感を高めていき、保護者アンケートで、承認・称賛することで温かな環境づくりに取り組んでいるという割合を90%以上にする。	・「ほめほめカード」や「がんばったねカード」に学校・地域・家庭で取り組み、本校2階のきらら通りや昇降口付近に掲示すると共に温かな環境づくりに努める。 ・教師の積極的なほめほめカードの取組を推進する。 ・PTAとの連携を図り、心豊かになる教育講演会を実施する。 ・全学級、学級活動の中で、友達や自分自身に対する承認・称賛の取組を行う。							教務主任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------